

# 教育研究業績書

2025年05月07日

所属：スポーツマネジメント学科

資格：教授

氏名：柳沢 和雄

研究分野	研究内容のキーワード
体育・スポーツ経営学, スポーツマネジメント	スポーツ経営, コミュニティスポーツ, 総合型地域スポーツクラブ, スポーツ推進委員, ソーシャルガバナンス, 市民社会論
学位	最終学歴
教育学修士	筑波大学大学院博士課程体育科学研究科

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
1.1. 主体的な学びを促すための学習教材の工夫	2021年4月1日～現在	授業に関してはパワーポイントやビデオ等を用いたオンデマンド教材を作成、授業内容の理解促進。 専門科目以外に共通教育科目「スポーツと現代社会」を担当し、スポーツの歴史やトピックスを取りあげながら、多くの学生がスポーツの文化特性と現代的課題を理解し、スポーツに内在する価値や問題を認識できるよう視覚的教材の作成を工夫した。 雨宮美宇「総合型地域スポーツクラブ会員の運営参加と促進要因に関する研究－経営者の信念に着目して－」（2020年） 森本修多「総合型地域スポーツクラブにおける組織間の連携に関する研究－連携の成果及び影響要因の検討－」（2019年） 市山侑樹「総合型地域スポーツクラブをめぐる衰退要因に関する研究」（2019年） 宮田樹「一般住民の総合型地域スポーツクラブへの加入意向とスポーツライフスタイル志向に関する研究」（2018年） 崎原知美「大学運動部員の特権意識が及ぼす大学生活への影響に関する研究」（2017年） 山下博武「プロスポーツ組織における人的資源管理の形成要因に関する研究－Jリーグクラブの事業部門を事例として－」（2017年） 熊田吾一「総合型地域スポーツクラブにおける経営管理者のキャリアと管理行動に関する研究」（2016年） 健康・スポーツマネジメント専攻主任として（1998年～2014年）、専攻カリキュラムの核となる健康・スポーツマネジメント実習の指導や、実習先との調整・開発。新カリキュラムのキャリア形成インターンシップの実習ノートやインターンシップ先の調整等の準備。
2. 幅広い学びを学びを促す学習の工夫	2021年4月～現在	
3.3. 修士論文指導（前任校での過去5年間を記載）	2020年3月31日	
4.2. 専攻主任としてインターンシップ制度の構築（前任校）	2020年3月31日	
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
1. 仲澤眞・吉田政幸編著 『よくわかるスポーツマーケティング』	2017年11月30日	「よくわかるスポーツマーケティング」（ミネルヴァ書房）の「地域行政とスポーツ」を執筆。 編集代表者として「テキスト 体育・スポーツ経営学」（大修館書店）を編纂した。第1章「現代社会と体育・スポーツ経営」、第4章第1節「体育・スポーツ事業の基礎となる経営資源」を執筆。 編集代表者として「よくわかるスポーツマネジメント」（ミネルヴァ書房）を編纂した。[序 スポーツマネジメントとは 1. スポーツマネジメントの発展 2. スポーツマネジメントの目的]を執筆。
2.1. 柳沢和雄・木村和彦・清水紀宏編著 『テキスト 体育・スポーツ経営学』	2017年11月10日	
3. 柳沢和雄・清水紀宏・中西純司編著 『よくわかるスポーツマネジメント』	2017年3月31日	
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ健康システム・マネジメント専攻 非常勤講師	2020年～2021	「コミュニティスポーツプロモーション論特講」
2. 筑波大学大学院人間総合科学研究科体育研究科 非常勤講師	2020年～2021	「スポーツマーケティング論」
3. 筑波大学体育専門学群 非常勤講師	2019年～2021	「スポーツサービス業と経営戦略」

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
4. 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科 非常勤講師	2015年～2017	「経営と戦略」
5. 東京国際大学人間社会学部 非常勤講師	2015年～2017	「スポーツ経営学」
6. 立教大学大学院コミュニティ福祉学研究科 非常勤講師	2014年～2019	「スポーツウエルネス研究12 スポーツ経営学」
7. 茨城大学教育学部 非常勤講師	2007年～2014	「スポーツ行政学」
8. 仙台大学大学院 非常勤講師	2000年～2021	「スポーツマネジメント論特講」
9. 秋田大学教育文化学部 非常勤講師	2000年～2001	「スポーツ経営管理学」
<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. 高等学校保健体育科教員免許	1979年3月31日	
2. 中学校保健体育科教員免許	1979年3月31日	
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		
1. 筑波大学名誉教授	2020年4月1日	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
1. スポーツ推進委員ハンドブック 改訂版	共	2023年9月1日	公益財団法人全国スポーツ推進委員連合	スポーツ振興法、スポーツ基本法に規定されたスポーツ推進委員を対象とした啓発書。本書の編集を担当するとともに、「地域におけるスポーツ振興の変遷」「スポーツ推進委員の資質向上」を執筆。
2. テキスト体育・スポーツ 経営学	共	2017年11月10日	大修館書店	東京教育大学からの体育経営学を基礎とした現代的な基礎理論書及び学生用教材として作成。体育・スポーツ経営学の目的論・スポーツ事業論。経営資源論・経営過程・領域論等で構成。編集責任者として編纂を企画・執筆。
3. よくわかるスポーツマネジメント	共	2017年3月31日	ミネルヴァ書房	ミネルヴァ書房より「やわらかアカデミズム・<わかる>シリーズ」の一環として、スポーツマネジメントの理論的・実践的な全体像を解説。編集責任者として編纂を企画・執筆。
4. スポーツ推進委員ハンドブック	共	2014年	公益社団法人全国スポーツ推進委員連合	スポーツ振興法（1961）、スポーツ基本法（2011）に位置づけられたスポーツ推進委員を対象とした生涯スポーツ推進の制度・経営論の解説。編集責任者として編纂を企画、「地域におけるスポーツ振興の変遷」を執筆。
5. (改訂)体育指導委員の基礎知識 生涯スポーツと地域の創造	共	2008年9月15日	社団法人全国体育指導委員連合	スポーツ振興法（1961）に位置づけられた体育指導委員を対象とした生涯スポーツ振興の制度・経営論の解説。「体育指導委員の役割と関連事項」「総合型地域スポーツクラブの背景と取り組み」「総合型地域スポーツクラブの育成と活動状況」「総合型地域スポーツクラブの育成と体指の係わり」を執筆。
6. 総合型地域スポーツクラブの発展と展望－KSCC30年の軌跡－	共	2008年1月27日	不昧堂出版	柳沢和雄・向陽スポーツ文化クラブ編で、編集責任者として編纂を企画・執筆。総合型地域スポーツクラブ育成の意義や機能を、向陽スポーツ文化クラブの実践から確認するとともに、クラブ育成の意義を解説。「生涯学習社会と生涯スポーツ」「生涯スポーツ政策との現状と課題」「地域スポーツ論の変遷とKSCC」「ボランティア組織の特性とKSCC」「総合型地域スポーツクラブの持続的発展と経営課題」「市民社会と総合型地域スポーツクラブ」を執筆。
7. メガ・スポーツイベントの社会学－白いスタジアムのある風景－	共	2006年6月15日	南窓社	スポーツと地域開発をめぐる、住民の生活論からスポーツ開発の課題を検討した理論書。松村和則編著で、第3章「鹿島開発とワールドカップサッカー－外発的発展としてのW杯－」にて鹿島開発とスポーツとの関係を分析。
<b>2 学位論文</b>				
1. 体育行政の効果・効率に関する研究－特に、体育行政組織の環境適応をめぐる		1983年7月31日	筑波大学大学院博士課程体育科学研究科体育科学専攻	地域におけるスポーツ振興をめぐる体育・スポーツ行政の、効果・効率は、行政組織の構造や過程と環境課題の適合にあることを検証しようとした。スポーツマネジメントにおけるコンティンジェンシー理論（環境適応理論）の援用の試み。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2 学位論文</b>				
—				
<b>3 学術論文</b>				
1. 北米スポーツマネジメント学会の研究動向：Journal of Sport Management (2010-2017年)のレビュー	共	2020年9月30日	高松大学研究紀要 74：1-24	2010年以降における海外のスポーツマネジメント研究について理解を深め、わが国の体育・スポーツ経営研究を展開するための基礎的知見を得ることを目的とした。本研究では、Journal of Sport Management に 2010 年から 2017 年に掲載された実証研究 2 年に掲載された実証研究 282 編を、「理論分野」、「経営領域」、「研究手法」という基礎的観点から分析し、それらを数量的に整理するとともに、経営領域毎に主要テーマとなっている研究のレビューを行った。
2. スポーツの認知的観戦能力の解明	共	2020年3月31日	体育・スポーツ経営学研究, 33. 1-19	観戦能力の認知的領域の構造を明らかにする。具体的には、認知的観戦能力の測定尺度の開発を通して、認知的観戦能力の構造を明らかにすることを目的としている。構成概念の作成、尺度開発、探索的因子分析及び確認的因子分析という手順を経て、認知的観戦能力は、21 の評定尺度で項目構成され、合計6 因子からなることが明らかとなった。
3. 2020東京オリンピック・パラリンピックと体育・スポーツ経営学—「中央—周辺」論からみた構造的暴力—	単	2017年3月31日	体育・スポーツ経営学研究, 30：1-6	メガ・スポーツイベントの招致過程やレガシーをめぐる中央（政府やIOC・NOC等の団体や関連企業など）と地方（基礎自治体や住民）との権力・利害構造の矛盾を論究。スポーツも原子力開発や沖縄基地問題と同じ構造的問題を抱えていることへの批判。
4. プロスポーツ組織におけるフロントスタッフに対する人的資源管理の実態と課題	共	2017年3月31日	体育・スポーツ学研究 31：25-39	J2サッカークラブのマネジメントスタッフの労働環境の格差について、その課題とクラブのマネジメントの相違について考察と論究。
5. 公共スポーツ施設における指定管理者制度とガバナンスに関する研究	共	2017年	体育経営管理論集 9：1-14	2003年の地方自治法改正により導入された指定管理者制度の影響について、制度的に合理的・効果的に対応した事例分析。
6. 体育・スポーツ経営学における人とスポーツの関わり	単	2016年3月31日	体育・スポーツ経営学研究29：49-59	体育・スポーツ経営学の理論構成の準拠枠となる人々のスポーツ行動の位置づけと考え方に関する理論的検討と、それに基づく体育・スポーツ経営学の学的性格や志向性を提示。
7. プロスポーツクラブと地域の関係性に関する研究—Jリーグクラブのホームタウン移転をめぐる—	共	2012年	体育経営管理論集, 4：35-45	市原市に誘致されたジェフユナイテッド市原が、ジェフユナイテッド千葉と広域化する過程を地域の論理とクラブ経営の論理との関係から分析。
8. 総合型地域スポーツクラブの設立をめぐる正当性の確保と地域生活の歴史に関する研究	共	2009年3月31日	体育・スポーツ経営学研究, 23：33-47	総合型地域スポーツクラブ育成政策を受動的に受けれる住民像ではなく、地域の生活者の論理から利用ようとする住民の主体性を分析。
9. 鹿島開発をめぐる生活課題とスポーツの組織化に関する研究—地域開発政策からスポーツ政策への変容をめぐって—	単	2006年3月31日	体育・スポーツ経営学研究, 20：17-29	陸の孤島と呼ばれた茨城県鹿島町がJリーグクラブの誘致に乗らねばならなかった背景を鹿島開発のもたらした生活課題に求め、その課題解決に取り組んだ鹿島町のスポーツ開発過程を分析。
10. 公共スポーツ施設整備におけるPFI方式導入の成果と課題	共	2003年3月31日	体育・スポーツ経営学研究 18：37-50	PFI法（1999年）によって公共スポーツ施設の経営形態は施設新築と経営の効率化目的に民営化に向っている。施設経営の変容と成果を検討した事例研究。
11. 複数校合同運動部活動に関する事例の研究	共	2003年3月31日	体育・スポーツ経営学研究 18：13-23	複数合同部活動を導入した高校ラグビー部を事例に、導入をめぐる経営課題や導入後、部員の増加による経営の混乱とその課題について検討。
12. フィットネスクラブのサービス品質が顧客満足に及ぼす影響	共	2002年3月31日	体育・スポーツ経営学研究 17：1-17	フィットネスクラブのサービス品質構造研究をもとに、サービス品質と顧客満足との関係を分析。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. スポーツ政策と文化政策 —2020年以降の課題—	単	2017年3月	日本文化政策学会第10回研究大会	2020東京オリンピック・パラリンピック大会を前提に、成長産業として位置づけられたスポーツの現状と政策論的な課題について講演。
2. Management and Legacy of the FIFA World Cup Korea/ JapanTM.	単	2013年8月	The 25th International Sport Science Congress of KAHPERD, Korea	第25回韓国スポーツ科学国際会議 (KAHPERD) にて、日本の立場から2002年日韓サッカーワールドカップの成果と課題について講演。
3. Present Situation of Sports Facilities in Japan and Related Management Issues	単	2009年8月	2009 KAHPERD International Sport Science Congress : Korea	2009年韓国健康・体育・レクリエーション・ダンス学会 (KAHPERD) にて、日本における公共スポーツ施設整備の考え方と現状、及び施設の経営解体の多様化や民営化の課題等について講演。
4. 地方分権化と地域スポーツ振興をめぐる経営課題	単	2006年5月	The 6th Sport and Leisure Management International Conference - Trends in sport and leisure management-, Taiwan	第6回スポーツ&レジャーマネジメント国際会議 (台湾) にて、戦後の地域スポーツ振興政策及び総合型地域スポーツクラブ育成の意義と課題等について講演。
2. 学会発表				
1. 総合型地域スポーツクラブの衰退要因に関する基礎的研究	共	2019年3月	体育・スポーツ経営学会第42回大会	
2. 総合型地域スポーツクラブにおける組織間の連携に関する研究	共	2019年3月	体育・スポーツ経営学会第42回大会	
3. プロスポーツ組織における人的資源管理の形成要因に関する研究	共	2017年3月	体育・スポーツ経営学会第40回大会	
4. 大学運動部員の特権意識が及ぼす大学生活への影響に関する研究	共	2017年3月	体育・スポーツ経営学会第40回大会	
5. 総合型地域スポーツクラブにおけるクラブ経営管理者のキャリアと管理行動に関する研究	共	2016年3月	体育・スポーツ経営学会第39回大会	
6. 東京アスリート・サイクル地域貢献モデル事業の事業評価に関する研究	共	2016年3月	体育・スポーツ経営学会第39回大会	
7. オープンリーグシステムのプロスポーツにおける人的資源管理の課題	共	2016年3月	体育・スポーツ経営学会第39回大会	
8. NASSMにおけるSport Management研究の動向～Journal of Sport Management (2010-2015年) のレビュー～	共	2016年3月	体育・スポーツ経営学会第39回大会	
9. アメリカにおける大	共	2016年3月	体育・スポーツ経	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
学ス ポーツの統括組織に関する研究ー特に、NCAAの統治能力についてー			営学会第39回大会	
10. プロスポーツ組織における人的資源管理の形成要因に関する研究	共	2016年3月	日本スポーツマネジメント学会第9回大会	
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. 21世紀スポーツ大事典	共	2015年	大修館書店	編集委員。「コミュニティスポーツと生涯スポーツ」を執筆。
2. スポーツマーケティング 交換過程の経営	共	2000年4月15日	スポーツマネジメント研究会・道和本書院	第4章「勝利の影響とブランドマネジメント」、第5章「顧客データベースの活用」を担当。
3. スポーツマネジメント	共	1995年4月20日	日本スポーツ産業学会・大修館書店	編集委員。第1章「スポーツマネジメントの概念・発展・カリキュラム」、第8章「経営管理」担当。
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
1. 科学研究費（代表）基盤研究（C）	単	2016年2020年		「地域スポーツ推進体制の構造的矛盾とソーシャルガバナンス」
2. 科学研究費（分担）基盤研究（B）	共	2009年2011年		「東アジアにおけるメガスポーツイベントと都市再編をめぐる比較社会学」
3. 科学研究費（代表）基盤研究（B）	共	2007年2009年		「新自由主義と生涯スポーツ振興体制の構造変容に関する研究」
4. 科学研究費（代表）基盤研究（C）	単	2005年2006年		「ソーシャルキャピタルとしてのスポーツNPOの課題に関する研究」
5. 科学研究費（代表）基盤研究（C）	単	2003年2004年		「総合型地域スポーツクラブと住民ネットワークの変容に関する研究」
6. 科学研究費（分担）基盤研究（B）	共	2002年2003年		「W杯サッカー日韓共同開催をめぐる地域変動：環境・NPO・ネットワークに関連して」
7. 科学研究費（代表）基盤研究（C）	単	1996年1997年		「社会変動とコミュニティスポーツの変遷」
<b>学会及び社会における活動等</b>				
年月日	事項			
1. 2021年6月11日	令和3年度東京都生涯スポーツ担当者研修会			
2. 2021年5月30日	令和3年度スポーツ推進委員リーダー養成講習会			
3. 2021年4月～現在	スポーツを核とした甲子園エリア活性化推進協議会委員			
4. 2021年2月4日	スポーツ庁 生涯スポーツ・体力づくり全国会議2021			
5. 2021年1月24日	東京都スポーツリーダー研修会			
6. 2021年～現在	スポーツを核とした甲子園エリア活性化推進協議会委員			
7. 2019年6月～2021年6月	日本体育学会理事			
8. 2019年～現在	スポーツ庁「Sport in Lifeコンソーシアム 中央幹事会」委員			
9. 2019年2021年	東京都品川区スポーツ推進計画策定委員会 委員長			
10. 2018年6月～現在	公益社団法人全国スポーツ推進委員連合 専務理事			
11. 2018年～現在	（公社）全国スポーツ推進委員連合専務理事			
12. 2018年～2020年	東京都江東区スポーツ推進計画策定委員会委員長			
13. 2018年～2020年	東京都足立区文化・読書・スポーツ総合推進会議副会長			
14. 2018年～2020年	東京都北区スポーツ推進計画検討委員会会長			
15. 2016年～2018年	茨城体育学会副会長			
16. 2013年～2016年	茨城体育学会理事長			
17. 2012年～2019年	日本体育・スポーツ経営学会会長			
18. 2010年～2021年	東京都練馬区スポーツ関係者懇談会座長			
19. 2008年～2021年	東京都目黒区体育施設指定管理評選定委員会 委員長			
20. 2008年～2019年	日本体育学会体育経営管理専門領域会長			
21. 2005年～2020年	茨城県スポーツ推進審議会副委員長			

学会及び社会における活動等

年月日	事項
6. 研究費の取得状況	
22. 2000年～現在	(公社) 全国スポーツ推進委員連合会機関誌 「みんなのスポーツ」 編集長
23. 1990年～2019年	日本体育学会評議員